作成日　2012 年 10 月 24 日
改訂日　2023 年　6 月 29 日

安全データシート

１．化学品及び会社情報

化学品の名称　：　硫酸水銀 28.3g
カタログ No　：　191520
品目コード　：　HACH0432
供給者の会社名称，住所及び電話番号
東亜ディーケーケー株式会社
東京都新宿区高田馬場 1-29-10
担当部門　：　生産部 HACH 技術課
04-2957-6152
ＦＡＸ番号　：　04-2957-9906

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康有害性
急性毒性（経口）区分 3
急性毒性（経皮）区分 3
皮膚感作性 区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分 1（腎臓）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分 1（中枢神経系 腎臓）

環境有害性
水生環境有害性 短期（急性）区分 1
水生環境有害性 長期（慢性）区分 1

（上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。）

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報
飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有毒
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
腎臓の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による腎臓、中枢神経系の障害
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
特別な処置が必要である。（詳細は、SDS4 項：応急措置を参照のこと）。
口をすすぐこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。

保管　施錠して保管すること。

廃棄　水銀を含む廃棄物はすべて、認可された有害廃棄物処理施設にて処分する。または都道府県知事の認可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。水銀と接触した器具又は表面は、市販の適切な水銀吸着剤にて除染すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

化学名又は一般名	硫酸水銀（Ⅱ）
含有量	100.0%
化学式又は構造式	$HgSO_4$
官報公示整理番号	
化審法	1-437
安衛法	―
CAS No.	7783-35-9

４．応急措置

吸入した場合	:	呼吸が停止した場合、人工呼吸を行い、直ちに医師の診断、手当てを受けること。空気の新鮮な場所に移すこと。ダストや煙霧を吸入しないこと。飲み込んだり吸入した場合は、口対口の人工呼吸は行わずに、バッグバルブマスク等の適切な医療用具で人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合は、訓練を受けた者が酸素吸入を行うこと。症状が出た場合は直ちに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	:	直ちに医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類や靴はすべて脱ぎ、直ちに多量の水と石鹸で良く洗うこと。
眼に入った場合	:	直ちに医師の診断、手当てを受けること。直ちに大量の水で、まぶたの下まで 15 分間以上良く洗うこと。眼を大きく見開いて洗浄すること。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激や炎症が続く場合は医師に連絡すること。患部をこすらないこと。
飲み込んだ場合	:	直ちに医師の診断、手当てを受けること。無理に吐かせないこと。水で口をすすいだ後、大量の水を飲ませること。意識がない場合は口から何も与えないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	:	灼熱感、せき、喘息、呼吸困難、発赤、涙目や充血の恐れあり
医師に対する特別な注意事項	:	症状に応じて治療すること。

５．火災時の措置

適切な消火剤	:	周囲の火災状況及び環境に応じて、適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	:	データなし
火災時の特有の危険有害性	:	水銀、硫黄酸化物

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用する。個人用保護具を着用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : 眼、皮膚、衣類との接触を避けること。適切な換気を行うこと。指定された個人用保護具を使用すること。漏出区域から離れた風上の安全な場所に退避させること。ダストや煙霧を吸入しないこと。

環境に対する注意事項 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。環境へ流出することを防ぐこと。土壌や下層土に流出させないこと。漏出物を排水系に流出させないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。漏出物を適切なラベルの貼付された容器に集めること。

二次災害の防止策 : 漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い : 本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。汚染された衣類はすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。ダストや煙霧を吸入しないこと。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。製品を使用する際は、密閉された装置、または適切な排気装置を使用すること。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : データなし

接触回避 : データなし

保管 : 施錠して保管すること。容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。子供の手の届かないところに保管すること。

安全な保管条件 : データなし

安全な容器包装材料 : データなし

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度 : OSHA PEL;
硫酸水銀(Ⅱ):(vacated) Ceiling 0.1mg/m^3
ACGIH TLV;
硫酸水銀(Ⅱ):TWA 0.025mg/m^3 Hg

設備対策 : 安全シャワー、洗眼設備、換気設備

保護具

呼吸用保護具 : 適切な換気

手の保護具 : 保護手袋、不浸透性手袋

眼、顔面の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡、保護面

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣（長袖）、不浸透性保護衣、耐薬品性白衣

一般的な衛生上の注意事項 : この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。作業を中断する場合や使用後は直ちに手をよく洗うこと。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。適切な保護具を着用すること。汚染された衣類や手袋などをすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をし、内側までよく洗うこと。装置や作業場、作業服は定期的に清掃すること。ダストや煙霧を吸入しないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境ばく露対策 : 下水系、地面、及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

９．物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体（結晶）

色 : 白色

臭い	:	無し
分子量	:	296.68g/mole
融点／凝固点	:	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:	データなし
可燃性	:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	:	データなし
引火点	:	該当せず
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	700℃; 1292℉
ｐＨ	:	データなし
動粘性率	:	該当せず
溶解度	:	水：分解する 高濃度の塩化ナトリウム溶液： 溶解する（>1000mg/L, 25℃; 77℉） 熱硫酸：溶解する（>1000mg/L, 25℃; 77℉） 塩酸：溶解する（>1000mg/L, 25℃; 77℉）
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	データなし
蒸気圧	:	該当せず
密度及び／又は相対密度	:	6.47（水=1、空気=1）
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし

１０．安定性及び反応性

反応性	:	該当せず
化学的安定性	:	適切な条件下にて安定である。
危険有害反応可能性	:	通常使用下にて特になし。
避けるべき条件	:	過度の熱
混触危険物質	:	強酸、強塩基、強酸化剤
危険有害な分解生成物	:	水銀化合物、硫黄酸化物

１１．有害性情報

急性毒性		
（経口）	:	急性毒性推定値 LD50=57mg/kg
（経皮）	:	急性毒性推定値 LD50=625mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	:	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	混合物の皮膚感作性成分濃度により区分1とした。
生殖細胞変異原性	:	データなし
発がん性	:	IARC グループ3（作用因子はヒト発がん性については分類することができない）
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	混合物の特定標的臓器毒性(単回ばく露)成分濃度により区分1（腎臓）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	混合物の特定標的臓器毒性(反復ばく露)成分濃度により区分1（中枢神経系 腎臓）とした。
誤えん有害性	:	データなし

１２．環境影響情報

生態毒性　：　硫酸水銀(Ⅱ)：甲殻類 96 時間 LC50=0.0097mg/L
残留性・分解性　：　データなし
生体蓄積性　：　データなし
土壌中の移動性　：　データなし
オゾン層への有害性　：　データなし

１３．廃棄上の注意

化学品，汚染容器及び包装の安全で，かつ，環境上望ましい廃棄，又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物　：　水銀を含む廃棄物はすべて、認可された有害廃棄物処理施設にて処分する。または都道府県知事の認可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。水銀と接触した器具又は表面は、市販の適切な水銀吸着剤にて除染すること。
汚染容器・包装　：　容器は再利用しないこと。

１４．輸送上の注意

国内規制
　陸上規制情報　：　毒物及び劇物取締法に従う。
　海上規制情報　：　船舶安全法に従う。
　航空規制情報　：　航空法に従う。
国連番号　：　1645
品名（国連輸送名）　：　硫酸水銀類又は硫酸水素水銀類
国連分類　：　クラス 6.1（毒物）
容器等級　：　Ⅱ
緊急時応急措置指針番号　：　151
輸送の特定の安全対策及び条約　：　輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行なう。

国際規制
　運輸規制情報
　　Proper Shipping Name　：　Mercury Sulphate
　　Hazard Class　：　6.1
　　Subsidiary Risk　：　Not Applicable
　　ID Number　：　UN1645
　　Packing Group　：　Ⅱ
　航空規制情報
　　Proper Shipping Name　：　Mercury Sulphate
　　Hazard Class　：　6.1
　　Subsidiary Risk　：　Not Applicable
　　ID Number　：　UN1645
　　Packing Group　：　Ⅱ
　海上規制情報
　　Proper Shipping Name　：　Mercury Sulphate
　　Hazard Class　：　6.1
　　Subsidiary Risk　：　Not Applicable
　　ID Number　：　UN1645
　　Packing Group　：　Ⅱ

その他の情報
　本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類：クラス９（その他の危険物質）、国連番号：３３１６

１５．適用法令

化学物質管理促進法（ＰＲＴＲ）	:	第１種指定化学物質（法第２条第２項、施行令第１条別表第１） 水銀及びその化合物（管理番号：237）
労働安全衛生法	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条第１項、施行令第１８条第１号、第２号別表第９） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２第１号、第２号別表第９） 水銀及びその無機化合物（政令番号：315） 作業環境評価基準（法第６５条の２第１項）水銀及びその無機化合物 特定化学物質第２類物質、管理第２類物質（特定化学物質障害予防規則第２条第１項第２，５号）水銀及びその無機化合物 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第６６条第２項、施行令第２２条第１項）水銀及びその無機化合物
毒物及び劇物取締法	:	毒物（指定令第１条） 水銀化合物及びこれを含有する製剤
水質汚濁防止法	:	有害物質（法第２条、施行令第２条、排水基準を定める省令第１条） 水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	:	特別管理産業廃棄物（法第２条第５項、施行令第２条の４）水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物を含有する特定有害産業廃棄物
土壌汚染対策法	:	特定有害物質（法第２条第１項、施行令第１条）水銀及びその化合物
下水道法	:	水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物
海洋汚染防止法	:	個品運送Ｐ（施行規則第３０条の２の３、国土交通省告示）硫酸水銀類又は硫酸水素水銀類
航空法	:	毒物類・毒物（施行規則第１９４条危険物告示別表第１）硫酸水銀類又は硫酸水素水銀類
船舶安全法	:	毒物類・毒物（危規則第３条危険物告示別表第１）硫酸水銀類又は硫酸水素水銀類

１６．その他の情報

引用文献等

① Hach Company SDS No.M00498 (Mercuric Sulfate)
② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
③ ezCRIC 日本ケミカルデータベース㈱
④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

ＧＨＳ分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、ＨＡＣＨ社のＧＨＳ分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。